

令和元年度 KPI評価シート

基本目標	1 魅力ある安定した雇用が生まれるまちづくり				
目的	<p>「しごと」と「ひと」の好循環を確立するためには、まず、「しごと」づくりが第一です。転入超過の状況を維持するには、新しい人の流れを彦根市に呼び込み、若い世代の結婚から子育てまでの希望をかなえ、彦根市に住み、住み続けるための前提として、「しごと」の確保は欠かせません。</p> <p>そのため、産業振興や競争力の強化などに、官民が連携して取り組むことで、安定した雇用や魅力ある雇用を創出し、多様な雇用機会の確保に努めていきます。</p> <p>また、就労に結びつく「ひとを育てる支援」や、官民の連携による新卒者等の地元就労を促す「しごととひとを結びつける支援」を促進することによって、彦根市で就労できる環境や企業が人材を確保しやすい環境を整えていきます。</p> <p>さらに、文化・歴史資産、農林水産物などの地域資源を活かし、裾野が広く多くの業種の雇用に影響を持つ観光産業を活性化させることで、宿泊や飲食、買い物、各種サービス業等の消費の拡大を図り、新たな雇用の創出に努めていきます。</p>				
数値目標	指標	基準値	目標値 (令和元年度)		
	有効求人倍率 (彦根管内)	1.23倍 (平成26年度)	1.37倍		
各施策とその方向性	施策名	KPI名	KPI基準値(26年度)	KPI目標値(R1年度)	方向性
	(1) 企業立地や産業集積の促進等による地元での就職環境の整備	有効求人倍率(彦根管内)	1.23	1.37	彦根市の地場産業である彦根仏壇・バルブ・ファンデーションの活性化を図るため、「彦根市地場産業活性化基本方針および行動計画」に基づき、関係機関の連携のもと、人材の確保・育成、営業戦略、販路拡大、技術商品開発等によるブランド強化、国際化(海外展開)等について、各産業の特性に合わせた取組を展開するとともに、必要な支援を行います。
		工業製品等出荷額(億円)	5,757	5,879	
		工場等設置奨励措置件数(件)	61	66	
	(2) 起業や新分野への進出に対する支援による新たな雇用の創出	起業者数(人)	—	95	地域に新たなビジネスや雇用を創出し、地域を活性化させるため、官民連携のもと、起業や第二創業等による新たな分野への進出に係る人材育成や企業育成等について支援を行っていきます。
	(3) 地場産業の人材確保・育成および競争力強化	彦根仏壇産地生産額(百万円)	2,900	2,974	彦根市の地場産業である彦根仏壇・バルブ・ファンデーションの活性化を図るため、「彦根市地場産業活性化基本方針および行動計画」に基づき、関係機関の連携のもと、人材の確保・育成、営業戦略、販路拡大、技術商品開発等によるブランド強化、国際化(海外展開)等について、各産業の特性に合わせた取組を展開するとともに、必要な支援を行います。
		彦根バルブ産地生産額(百万円)	22,789	23,276	
		彦根ファンデーション産地生産額(百万円)	2,900	2,974	
	(4) 6次産業化や農商工連携の推進による農林水産業の競争力強化	認定新規就農者数(人)	5	10	6次産業化による生産・加工・流通の一体化や農商工連携を図り、彦根梨、アスパラガスなど重点的に活用を図るべき地域の農産物を活かし、付加価値が高く、かつ、消費者ニーズに応じた新たな加工品の開発を支援するとともに、先駆的な取組を行う農業者の育成を図っていきます。
		6次産業化に取り組む事業者数	2	7	
	(5) 人材不足の職場における人材の確保・定着への支援	福祉の職場説明会参加者のうち就職に結びついた人数(人)	7	20	福祉・介護・医療職場等、求人と求職のミスマッチが生じている職場については、人材を確保するため、説明会等の開催や必要な資格取得に対する支援を行うとともに、離職率の高い職種については、研修会の開催や待遇改善を働きかけるなど、必要な人材の確保・定着への支援を行っていきます。
		ひとり親家庭が就職に有利な資格等を取得する際に係る費用助成対象者数(人)	5	29	
	(6) 観光・文化・スポーツの振興による地域活性化策の強化	観光入込客数(人)	3,007,000	3,650,000	① 「21世紀型城下町・彦根の創造」による観光地域づくり 20世紀型観光からの脱却を図るため、国宝彦根城をはじめとする文化財や彦根城博物館を、市民をはじめとする多様な主体が文化活動等を展開できる文化的空間として活用し、磨きあげることで、ブランド力の向上を図り、まちなみ景観、文化財、食、伝統産業、文化・芸能等を取り込んだ魅力的な城下町「21世紀型城下町・彦根」を創造していきます。さらには、効果的な誘客促進により、地域活性化を図るため、広域観光の促進に努めていきます。これにより、交流人口の増加と観光消費が及ぼす経済波及効果を創出し、地域経済の持続的な活性化を図っていきます。
		観光消費額(億円)	141	200	
		市内宿泊者数(人)	312,200	367,000	
		外国人観光客市内宿泊者数(人)	外国人観光客数(人)	40,416	100,000
外国人観光客市内宿泊者数(人)			7,093	70,000	
歴史的風致維持向上施設の整備件数(件)		14	19	③ まちなみ・歴史・文化資産の適正な保全と利活用 世界遺産暫定リストに登録されている彦根城とその関連資産の世界遺産登録に向けた取組を推進していきます。また、城下町等の歴史的なまちなみの保全とともに、歴史・文化資産の利活用を図っていきます。	
本市スポーツイベントへの参加人数(人)		27,877	28,200	④ 国民体育大会を契機としたスポーツ振興による地域活性化 平成36年(2024年)に滋賀県で開催が予定されている国民体育大会主会場が滋賀県立彦根総合運動場に決定されたことから、国体開催を契機に生涯スポーツをより一層楽しめる環境づくりを進めていきます。また、2020年の東京オリンピック・パラリンピックや、ワールドマスターズゲームズ2021関西の開催に伴うムーブメントが地方へも波及することを踏まえて、多様な交流やスポーツに親しめるにぎわいに満ちたまちづくりをめざしていきます。	

令和元年度 KPI評価シート

	施策名	KPI名	令和元年度KPI結果	令和元年度KPI目標値	評価	目標を達成できた／できなかった理由	第2期総合戦略ではどのように取り組むか
令和元年度の評価と課題	(1) 企業立地や産業集積の促進等による地元での就職環境の整備	有効求人倍率(彦根管内) 【地域経済振興課】	1.55	1.37	達成	(内部) 有効求人倍率は令和元年12月までは高水準で推移していたが、新型コロナウイルスの影響で令和2年1月からは減少へと転換しました。しかし、元々の水準が高かったことから結果として目標値は達成できました。 (外部)	(内部) 新型コロナウイルス感染症の影響により雇用状況は悪化していますが、彦根地域雇用対策協議会で各関係機関と各事業所との連携により課題解決に取り組めます。 (外部)
		工業製品等出荷額(億円) 【地域経済振興課】	7,113	5,879	達成	(内部) 緩やかな回復基調の景気の中で、KPI指標である工業製品等出荷額が目標値を達成することが出来ました。 (外部)	(内部) 今後は新型コロナウイルス感染症の影響により、新規企業の進出や既存企業の設備投資等が冷え込むことが懸念されますが、引き続き企業立地施策により、地域経済活性化の後押しを行っていく必要がありますので、現企業立地促進制度の周知に努め、各種企業誘致施策を推進し、企業の設備投資の促進や企業誘致を図ってまいります。 (外部)
		工場等設置奨励措置件数(件)【累計】 【地域経済振興課】	86	66	達成	(内部) 緩やかな回復基調の景気の中であったことや彦根市企業立地促進条例の周知により企業の投資が一定数あったことからの目標達成することができました。 (外部)	(内部) 今後も現企業立地促進制度の周知に努め、各種企業誘致施策を推進することで、企業の設備投資の促進や企業誘致を図ってまいります。 (外部)
	(2) 起業や新分野への進出に対する支援による新たな雇用の創出【基本目標3にも掲載】	起業者数(人)【累計】 【地域経済振興課】	97	95	達成	(内部) 窓口相談による指導や創業塾への参加者の増加により起業者が増加しました。 (外部) 新型コロナウイルス感染症の影響により、価値観は変わりつつあると思います。	(内部) 市内の大学や商工会議所など各関係機関と連携して、起業できる環境等を整備していきます。 (外部) 国・県の動向についても注視し、今後、起業支援制度を活用していくことも必要です。

令和元年度 KPI評価シート

	施策名	KPI名	令和元年度KPI結果	令和元年度KPI目標値	評価	目標を達成できた／できなかった理由	第2期総合戦略ではどのように取り組むか
令和元年度の評価と課題	(3) 地場産業の人材確保・育成および競争力強化	彦根仏壇産地生産額(百万円) 【地域経済振興課】	1,800	2,974	60.5%	(内部) 大型金仏壇の需要が依然低迷し、厳しい状況が続いており、生産額は前年の21億に比べ約14%と大きな減少となりました。	(内部) 曳山ミニチュア製作や甲冑製作など新たな取り組みや、彦根の伝統を守る技術職人の育成と海外進出など彦根仏壇のブランドの周知に取り組んでいきます。
						(外部)	(外部) 一企業の自助努力では対応できない場合における、公助の制度があればよいと考えます。
		彦根バルブ産地生産額(百万円) 【地域経済振興課】	27,541	23,276	達成	(内部) 原材料の高騰により軒並み調達部品の価格が上昇したが、産業用弁は首都圏を中心とする再開発の動きや、一般企業の業績好転による工事発注増もあり、前年の253億7,700万円度から8.5%と大きく増加しました。	(内部) 今後も引き続き、彦根バルブのブランド力の強化と周知に努めます。
						(外部)	(外部) 一企業の自助努力では対応できない場合における、公助の制度があればよいと考えます。
		彦根ファンデーション産地生産額(百万円) 【地域経済振興課】	2,900	2,974	97.5%	(内部) 加工賃は上昇傾向にあるが受注量は横ばい傾向にあります。為替変動の影響で原材料の仕入れ価格が不安定で利益率も不安定となっております。また、従業員の高齢化も進み若手従業員の確保も困難であるため、外国人技能実習制度による実習生に頼っている状況です。	(内部) 他の地場産業同様、人材の育成と新商品の開発、海外販路開拓など支援に努めます。
						(外部)	(外部) 一企業の自助努力では対応できない場合における、公助の制度があればよいと考えます。
(4) 6次産業化や農商工連携の推進による農林水産業の競争力強化	認定新規就農者数(人)【累計】 【農林水産課】	5	10	50.0%	(内部) 令和元年度において、新たな認定新規就農者はありませんでした。 第1期総合戦略でKPI指標としている“認定”新規就農者は、これまで「45歳未満」の者が新たに「独立自営」として就農した場合のみ実績とする指標としてきましたが、現状では50歳以上の者が新規就農されるケースや、農業法人等へ「雇用就農」されるケース、農業者の子息が転職・就職等として「親元就農」されるケースのほうが多く、就農形態が多様化していることも目標未達の一因であると思われます。	(内部) 第2期計画ではKPI指標の見直しを行い、雇用就農や親元就農を含む「新規就農者数」を目標値としており、対象とする新規就農者の範囲を拡大しました。 従前にも増して、滋賀県農産普及課や農業者団体との連携・情報共有を密にし、新規就農者への相談業務や情報提供を図ることとしています。 また、先駆的取組を行う農業者の活動について、ウェブサイトの活用により全国へ情報発信等を行い、彦根市農業の魅力伝えることで市外や県外からの就農者誘致も推進し、優れた経営感覚を持つ多様な担い手を将来にわたって確保していきます。	
					(外部)	(外部) 新規就農を進めるには、6次産業で収益を増やすことや、魅力を発信する必要があると考えます。	
	6次産業化に取り組む事業者数【累計】 【農林水産課】	3	7	42.9%	(内部) 六次産業化・地産地消法に基づく事業計画の国認定を受けた事業者数をKPI指標としていますが、事業計画が「5年以内」であることなどから事業成果を出すには期間が短く、農業者が加工・販売まで取り組むのは経営リスクが高いうえにメリットも少ないと判断され、近年では事業申請に対する関心が低下したことが要因として挙げられます。	(内部) 第2期計画では農業経営体の法人化を推進し、安定した経営基盤を確保することで、6次産業化による生産・加工・流通の一体化や農商工連携が図れるよう法人経営体の育成・確保を行います。 米・麦・大豆を中心とした土地利用型農業が本市農業の特徴となりますが、野菜や花きなどの高収益園芸作物についても引き続き支援を行い、特産品の創出を図れるよう関係機関とともに支援を行います。	
					(外部)	(外部) 新規就農を進めるには、6次産業で収益を増やすことや、魅力を発信する必要があると考えます。	

令和元年度 KPI評価シート

施策名	KPI名	令和元年度KPI結果	令和元年度KPI目標値	評価	目標を達成できた／できなかった理由	第2期総合戦略ではどのように取り組むか	
令和元年度の評価と課題	(5) 人材不足の職場における人材の確保・定着への支援	福祉の職場説明会参加者のうち就職に結びついた人数(人) 【介護福祉課】	5	20	25.0%	(内部) 説明会への参加者が少なく、まずは参加者数を増やすことが重要であると考えます。また、参加事業所の取組意欲に差があり、全体的に意欲の向上を図る必要があります。 (外部)	(内部) 一人でも多くの市民に福祉の職場の魅力を伝え、就職に結びつけていくため、説明会の開催内容や周知方法等を検討するとともに、説明会を活用して人材確保を推進していただけるよう事業所の取組姿勢の改善を求めています。 (外部) コロナ禍において、従来の説明会が開催できない場合、遠隔で実施するなどの方法を検討する必要があります。
		ひとり親家庭が就職に有利な資格等を取得する際に係る費用助成対象者数(人)【累計】 【子育て支援課】	24	29	82.8%	(内部) 令和元年度実績としては未達成ではありますが、次年度の対象となるR2.2月以降に申請された申請者が3人おられます。 (外部)	(内部) 助成対象者に対しては、受講中から資格取得後の求職活動までのフォローを行う必要があります。求職活動に当たっては、当課で実施しているプログラム策定員による就労支援を積極的に行い、引き続きひとり親家庭の経済的自立に向け、継続雇用を目指した就労支援を行っていきます。 (外部)
	(6) 観光・文化・スポーツの振興による地域活性化策の強化	観光入込客数(人) 【観光企画課】	3,152,800	3,650,000	86.4%	(内部) 前年に比べて増加したものの、台風・豪雨など年後半の天候不順の影響もあり、目標未達となりました。 (外部)	(内部) 県や広域で実施するキャンペーンと連動した取組により効果的に誘客を図るとともに、withコロナ、afterコロナ期を見据え、本市の観光資源(文化財、自然等)を活用した魅力的な観光コンテンツの開発などを進め、誘客の多角化を図ります。 (外部) 観光産業への依存度が高い都市であるため、コロナ禍における、新しい観光を検討する必要があります。
		観光消費額(億円) 【観光企画課】	161	200	80.5%	(内部) 前年に比べて増加したものの、観光入込客数の伸び悩みに加え、日帰り、宿泊ともに消費単価が前年に比べて減少した結果、目標未達となりました。 (外部)	(内部) 周遊を促進する取組を実施することで、滞在時間の延伸を図るとともに、観光消費に繋がる飲食、土産、体験メニューなど消費に繋がる観光コンテンツの開発やPRに取り組めます。 (外部) 観光産業への依存度が高い都市であるため、コロナ禍における、新しい観光を検討する必要があります。
		市内宿泊者数(人) 【観光企画課】	459,000	367,000	達成	(内部) 2018年に市内に宿泊施設が新規にオープンしたこともあり、宿泊者数が増加し、前年に引き続き、目標達成となりました。 (外部)	(内部) 県や広域で実施するキャンペーンと連動した取組、周遊観光に繋がるコンテンツ開発、夜間イベントの開催など、宿泊者数増加に向けた取組やそのPRに努めます。 (外部) 観光産業への依存度が高い都市であるため、コロナ禍における、新しい観光を検討する必要があります。

令和元年度 KPI評価シート

施策名	KPI名	令和元年度KPI結果	令和元年度KPI目標値	評価	目標を達成できた／できなかった理由	第2期総合戦略ではどのように取り組むか
令和元年度の評価と課題	外国人観光客数(人) 【観光企画課】	93,774	100,000	93.8%	(内部) WEBやSNSによる情報発信、多言語観光マップの制作などの受入環境整備、広域連携による外国人観光客の誘客に努め、前年よりも増加いたしました。目標未達となりました。	(内部) 新型コロナウイルス感染症の影響により、先行き不透明な状況ではありますが、引き続き、県(びわこビジターズビューロー)や近隣市(びわ湖・近江路観光圏活性化協議会)、DMOの(一社)近江ツーリズムボードなどと連携を密にし、外国人観光客に対する積極的な情報発信や受入環境の整備に取り組めます。
					(外部) 外国人観光客数と宿泊者数に大きな開きがあります。	(外部) 滋賀の魅力伝え、滋賀を目的地として来ていただき、長期滞在してもらう等の方法を検討する必要があります。
	外国人観光客市内宿泊者数(人) 【観光企画課】	22,823	70,000	32.6%	(内部) WEBやSNSによる情報発信、多言語観光マップの制作などの受入環境整備、広域連携による外国人観光客の誘客に努めましたが、目標未達となりました。	(内部) 新型コロナウイルス感染症の影響により、先行き不透明な状況ではありますが、引き続き、県(びわこビジターズビューロー)や近隣市(びわ湖・近江路観光圏活性化協議会)、DMOの(一社)近江ツーリズムボードなどと連携を密にし、外国人観光客に対する積極的な情報発信や受入環境の整備に取り組めます。
					(外部) 外国人観光客数と宿泊者数に大きな開きがあります。	(外部) 滋賀の魅力伝え、滋賀を目的地として来ていただき、長期滞在してもらう等の方法を検討する必要があります。
	歴史的風致維持向上施設の整備件数(件) 【景観まちなみ課】	24	19	達成	(内部) 歴史的風致の維持向上では、関係課が継続的に歴史まちづくりに関連する事業の推進を図ることによって、目標を達成することができています。	(内部) 歴史まちづくりでは、平成30年3月に国の認定を受けた「彦根市歴史的風致維持向上計画(第2期)」に基づき、彦根城を中心とする歴史的風致を後世に伝えるため、関係課とともに各種事業の推進を図るとともに、市民と協働して歴史まちづくりに取り組む必要があります。
					(外部)	(外部) 施設の活用面についても検討していく必要があります。
本市スポーツイベントへの参加人数(人) 【スポーツ課】	26,179	28,200	92.8%	(内部) (仮称)彦根総合運動公園および、(仮称)彦根市新市民体育センターの整備期間中、代替会場で円滑にスポーツイベントを開催していくことについては、ある程度、目標を達成できたと考えているが、昨年度まで実施していた元気フェスタを、会場や駐車場の確保が困難であったことや、費用対効果を勘案し開催を見送ったため、目標値を下回りました。	(内部) 多様化・高度化するスポーツ活動の市民ニーズに応え、誰もが生涯を通じてそれぞれの年齢や体力、目的に合ったスポーツ活動を安全に継続できる環境づくりを行うため、本市主催の行事等を実施するとともに、彦根市スポーツ協会加盟団体主催の各種大会・行事等についても広報する等、市民が気軽にスポーツに参加できる機会を増やすための取組を推進していきます。	
				(外部)	(外部)	